

今年は「東北東」

リビングサービス課
中川 拓哉



皆様、年末年始はどのように過ごされましたか？

私は食べ物を食べることが好きなので、正月はおせちやお餅を食べ過ぎたせいで、少しふっくらしたような気がします…涙(普段からふっくらしてるやんか！というツッコミは聞こえません!!笑)

今回は食べることが好きな私が次に楽しみにしている「恵方巻き」を食べる「**節分**」について少しご紹介させて頂こうと思います。

「節分」といえば「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまいた経験がありませんか？

「節分」は年に1回だと思っている方もおられると思いますが、(私はそう思っていました…)実は節分は年に4回もあるということをご存じだったのでしょうか？

「節分」とは「季節を分ける」という意味があります。季節を分ける日は一年間に4回あり、春夏秋冬それぞれに始まりの日が決められています。春は「立春(りっしゅん)」、夏は「立夏(りっか)」、秋は「立秋(りっしゅう)」、冬は「立冬(りっとう)」と呼ばれています。この春夏秋冬それぞれ始まる前日のことを「節分」といいます。

節分の豆まきはもともと中国から伝わってきた風習で、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、その鬼を追い払う儀式として、文武天皇の時代の慶雲3年(706年)に宮中で初めて行われたそうです。

室町時代には、冬から春になる時期を一年の境目とし、「立春」は新年を迎えるのと同じくらい大切な日としてされ豆をまいて鬼を追い払う行事として庶民にも広まりました。

次に恵方巻きを食べる理由・食べ方について紹介させて頂きます。

恵方巻きの「恵方」とは、その年の副を司る神様、歳徳神(としとくじん)のいる方向のことをいいます。

恵方巻きの起源は諸説あり、江戸時代から明治時代にかけて、大阪の花街で商人が芸遊びをしながら商売繁盛を願って食べたのが始まりという説がよく知られています。

その頃は「恵方巻き」という名前ではなく「太巻き寿司」・「丸かぶり寿司」と呼ばれていました。

関西地方の一部で続いていた習慣ですが、平成10年(1998年)に、大手コンビニエンスストアが全国販売する際に「丸かぶり寿司 恵方巻き」という名前で販売したことで「恵方巻き」という名前、習慣が日本各地に広まりました。

商売繁盛を願って食べたのが始まりですが、恵方を向いて一本まるごと食べることで無病息災や商売繁盛の運を「一気にいただく」ということを意味しており、途中で止めると運を逃すとも考えられています。

恵方巻きのルールその1 恵方をむいて食べる事！

まずはその年の恵方をむいて食べることです。神様がいらっしゃる、恵方をむいて、食べている間はその方向だけを見ること。よそ見をしてはいけません。そうでないとご利益を得ることが出来ないそうです。

恵方巻きのルールその2 恵方巻きは黙って食べる事！

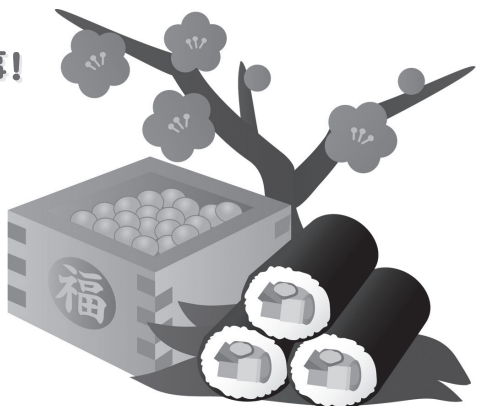
恵方巻きを食べるときは、黙って食べましょう。食べ終わるまで黙って食べないと、ご利益を得ることが出来ないそうです。丸ごと食べ終わるまで、静かに恵方巻きを全部食べましょう。もちろん、恵方巻きを食べ終わった後は、家族や友達と会話を楽しみながら、残りの食事をしてください！

恵方巻きのルールその3 恵方巻きは一気に食べる事！

恵方巻きを食べるときは、上品に切り分けたりせず、一本をがぶっと一気に食べてください。途中で休んだりすると、ご利益がなくなってしまうそうです。食べる前に恵方を向き、深呼吸。食べ終わるまでそのままの方向を向き、一気に一本いただいてください！ 一気に食べることが大事なので、お子様用は少し細めに巻くといいです。

2019年の恵方は「東北東」になります。

恵方巻き意味を知っている方や知らなかった方も一本を一気にとはい言いませんが意味を理解して食べてもらえたらと思います。



<https://jpncculture.net/setsubun/>

吉澤の
独り言

もうすぐ食べられる恵方巻き。海鮮や天ぷら、キャラクター物などたくさん種類の種類が販売されている。実は我が家では特殊な風習で恵方巻きの種類を選べ

ない儀式がある。節分前になると近くのスーパーなどで恵方巻きを物色し、『今日はまだ高いなあ。節分過ぎたら半額になる!!』など決めつけて、翌

日に売れ残り品を買いに行く嫁。『縁起物だから当日食べたい…』と文句を言うと、『アメリカだと思えば時差があるからきりぎりせーや!』と曰

本の伝統ある風習をなぜかアメリカに寄せていく。クリスマスやひなまつり・こどもの日などのイベントでも必ず『翌日売れ残り割引品』が食卓に並び、

いろんな言い訳が飛び出す嫁。家計を支える素晴らしい主婦の技。バレンタインくらいは期待していいですか？ 以上、吉澤の独り言でした。

趣味でストレス解消!!

総務課 皆見 和美

いろいろなストレス解消法がありますが、私のストレス解消法は趣味の時間を楽しむ事です。いくつかの趣味がありますが、一番長く続いている趣味は『トールペイント』です。

今回は魅力たっぷりのトールペイントの紹介です。

トールペイントとは…

家具などの木製品に絵の具を塗る手芸のことをいいます。15世紀後半にヨーロッパでトール(合板・ブリキの意味)に絵を描いたことが始まりとされ、移民によってアメリカに伝わり、その後アクリル絵の具が開発されたことによりクラフトとしてブームになりました。

日本では、ヨーロッパの伝統的な手法や筆使いを用いて木や布・ブリキ・缶等の様々な素材に描くことを総称してトールペイントと呼んでいます。

どんな素材にも絵を描けるトールペイントは、身近なものをアートに変身させることができます。100円均一の小物もオリジナル作品に代わります。

いろいろな本やデザインポケットと呼ばれる図案を写して描くことができるので、絵心が無い私でも大丈夫でした。

クリスマス、お正月、ひなまつり…と、季節のイベントに合わせた作品や、ティッシュケース、コースター、コルクボードなど実用的な作品もたくさん作りました。

トールペイントをすることによって、絵を描くことに集中するため、日頃のストレスを忘れ、気持ちを切り替えリフレッシュすることができます。

また作品が仕上がった時の達成感や満足感は、とても大きいものです。

1つの作品を作り上げた後は、次の作品の目標を決め、気持ちも前向きになります。

私は教室に通っている為、作品を創りながら同じ趣味を持つ仲間といろんな話をするのがとても楽しく、悩みを相談したり、知らないことを教えてもらったり、愚痴を言ったり、大声で笑ったり…。おしゃべりの時間のほうが長い日も…。

仕上がった作品も自己満足で終わらず他の人にも見てもらったり、アドバイスをもらうことにより自分自身のセンスアップにも繋がったりしていくのも楽しみの一つです。

寒い時期でも外に出ず気軽に楽しめるトールペイントの魅力を存分に味わっていただければ幸いです。

趣味はそれぞれ人により合う・合わないものもありますが、自分に合う趣味を見つけ、楽しく過ごしていきたいと思います。ストレスをためず、気楽に長〜く付き合っていける新しい趣味を皆さんもぜひ探してくださいね。

参照：http://tole-painting.net/what_of_tolepainting.html

